

ボランティアセンター講座

オンラインで学び実践しよう！ ファシリテーション講座 Vol. 2

～話し合いで使えるたずねるスキル～

講師

鈴木まり子さん (鈴木まり子事務所代表)
(日本ファシリテーション協会フェロー)

報告

2021年9月27日 (月)

■ ファシリテーション講座Vol. 2を開催！

9月27日(月)、本学の学生を対象に「ファシリテーション講座Vol. 2～話し合いで使えるたずねるスキル～」をオンライン(Zoom)で開催しました。当日は29名の学生や職員が参加して、ファシリテーションの数あるスキルの中から「たずねるスキル」に特化して学びを深めました。

本年度も講師は鈴木まり子さんにご担当いただきました。昨年はファシリテーションの基礎を学び大変好評でしたが、今年は昨年度を踏まえて更に実践的な内容になるように、学生コーディネーターで検討を重ね「たずねるスキル」の講座を開催して頂こうと決定しました。開催にあたっては事前に打ち合わせをして当日の運営も学生コーディネーターも携わることとなりました。

■ アイスブレイク：知り合いタイム

司会進行は学生コーディネーターの大和田さんが務めました。同じく学生コーディネーターの味野和さんがアイスブレイクとして実施した参加者同士の自己紹介タイムを担当しました。学生コーディネーターがデモンストレーションでお手本となるはずが、手順を飛ばして失敗！これもまたご愛敬です。間違場面もありましたが、参加者がよりリラックスすることができたのではないのでしょうか。習うより慣れるで、どんどん実践していくことが上達への近道だと思います。

ブレイクアウトルームに移動してからは参加者同士が積み木式自己紹介をしていくというのを2回行って、顔と名前がわかり打ち解けることができました。

■ 学生コーディネーターが作成した広報チラシ



■ いよいよ本講座開始！

まずは講師の鈴木まり子さんから自己紹介をしていただきました。これまでのご経歴や現在のお仕事の話の中で、ファシリテーション業務について的一端を知ることができました。また、まり子さんから本日のゴールとして「たずねるスキルを学び秋学期にどんどん活用しよう！」とゴール設定を明文化していただきました。「今日ファシリテーション講座で学んだことをどこで使おうかな？とイメージしながら参加してください。」と参加する心得もお話してくださいました。ファシリテーションスキルが講座の場でも多く実践されていました。

「ファシリテーションとはどんなイメージですか？」というまり子さんからの問いかけに参加者はリアルタイムでチャットに書き込み、内容をまりさんが読み上げるという双方向のやり取りで参加している側も講座にどんどん引き込まれていきました。答えとして「進行役・会話を回す人・潤滑油・相手の意見を引き出す・大変」などなど、たくさんのイメージができました。ではファシリテーションの意味は何でしょう？と問いかけてから教えてくださったのは◎話し合いを促進する・やりやすくする。◎学びを促進する・理解しやすくする。ということで、その役割を果たす人が「ファシリテーター」とであると教えてくださいました。

まりさんがファシリテーターとして活動している中で一番効果的だと思うことは参加者の当事者意識が非常に高まるということだそうです。自分たちで納得して決めたことはすぐにもやりたくなる、と力強くおっしゃいました。そして違う意見があっても違う価値観から対話する過程でお互いの考えに変化が起こり話し合いがとても豊かになる、とファシリテーターが思えるかどうかがとても重要だそうです。

講座の中では、昨年度参加者の方に、実際に話し合いの場でファシリテーションで学んだスキルを使ってみてどうだったかをまりさんとの実践形式でたずねたり、まずは相手の話を受け止めるだけでこちらにも気持ちの余裕がでます、と具体的にたずねるスキルの前の基本の心構えも教えてくださいました。参加者同士で実践する機会もあり、もっと実践したかったとお声も多く寄せられるほど好評でした。おしゃべりタイムにもたくさんの方にご参加いただきました。

最後に、まりさんから「本日の講座で学んだことをちょっとでも意識してみることを大事にして欲しい。スポーツと一緒にとにかく実践してみることを大切にしていってください！」と背中を押してくださいました。

■ 参加者事後アンケート

- ・実践で使えるスキルを数多く教えていただいた。
- ・先生のお話が分かりやすくグループワークも楽しく取り組めた。
- ・実際に自分のファシリテーションに対するフィードバックが欲しかった。